

### カナメ 浅草寺五重塔も アルミ瓦からチタンに

【カナメ】(本社・栃木県宇都宮市、吉原正博社長)らは6月13日、東京の浅草寺五重塔の屋根がチタン屋根材に葺き替えられたことを機に、マスコミ多数を集めて完成披露内覧会を開いた。

浅草寺では2007年に宝蔵門、10年に本堂の屋根がいふし瓦の本葺形から、本葺形意匠のチタ



五重塔の屋根から宝蔵門を見る

今回の屋根工事期間は2016年7月から今年5月まで。製品は「チタ

ンカナメ段付本瓦葺き」で、板厚は0.3mm。施工総枚数は丸瓦にあたる山瓦、平瓦にあたる谷瓦合わせて約5万7千枚。チタンの素材に微妙な濃淡を施した3種類の製品を使い、「配色をよりいふし瓦に近づける改良を施した」。

チタン材の製造は新日鐵住金㈱「改良」について同社チタン商品技術室の山口博幸主査は本紙に、「これまでのチタン瓦は、チタンの表面にアルミナを投射(ショットブラスト加工)して落ち着いた風合いを実現してきた。今回は3種類のうち